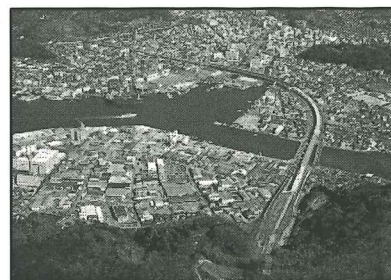


Ⅲ章 宇和島海洋先進都市



1 構想の背景

I章で述べたように、地域間格差による地方切捨ての時代を宇和島が生き残るために、地域の特性を活かし、他にはない独自性をもち他から必要とされなければなりません。その為には、町の存在意義・政策の方向性を一元化、共有し、都市全体（産学官民）が連携し夢をもち同じ方向に進んでいくことが必要であると考えます。また、Ⅱ章から、宇和島は「海によって発展してきたまち」です。

そこで、本構想はまず以下の理念を掲げその概容・方向性を提示します。そして、Ⅳ章において、構想実現の為の基盤となる3つの施策を提案し、Ⅴ章でむすびとし総括していきたいと思ひます。

2 構想の基本理念

「海」を中心とした都市を形成し世界に誇れる「宇和島」の実現

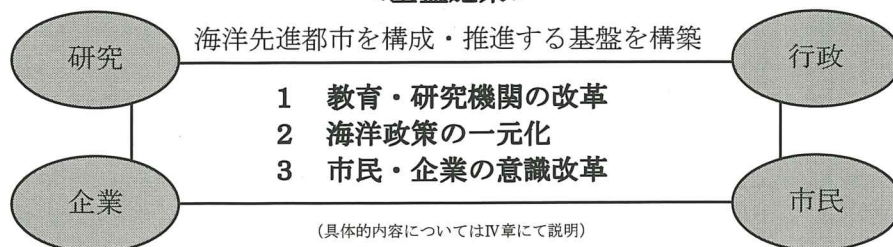
3 構想の概容・方向性

<基本方針>

海洋に関する世界有数の研究・産業（水産・貿易・観光・環境）都市。
産学官民の連携により対外的に海のまち「宇和島」（安全性、高品質、利便性、人間性、学術性）を定着させます。



<基盤施策>



<海洋先進都市ビジョン>

- 1 海洋・水産に関する学術研究の集積、地域との連携強化。
- 2 総合的な海洋政策を企画立案し、実行。
- 3 海洋・水産と市民生活・企業活動の調和、意識向上。